

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月31日

【評価実施概要】

事業所番号	270101512		
法人名	社会福祉法人諏訪ノ森会		
事業所名	グループホーム宮田館		
所在地 (電話番号)	〒039-3505 青森県青森市宮田字玉水238番地4 (電話) 017-726-2737		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年7月23日	評価確定日	平成21年8月31日

【情報提供票より】(平成21年7月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	4人, 非常勤 4人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(7月7日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	諏訪沢クリニック、医療法人ミナトヤ歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅街にあり、隣近所とは日常的に行き来し、交流出来ている地域密着という言葉が、すんなり納得出来る程地域の中にとけ込んでいる印象を受ける。ホームの理念を「いつもにこにこあつましい」と掲げ、管理者、職員全員が理解し合い日々の暮らしの中に反映されているのが利用者の穏やかな表情に現れているのと、ホームの雰囲気がとても明るい。法人全体の委員会組織の多様さと、勉強会の計画、何よりも人材育成のために、職員の教育プログラムが細かく、段階的に実施されており、職員のスキルアップと利用者の質の高いサービスに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の課題である24時間施設については、玄関の目の前が道路で非常に危険な為施設は現在も行われているが、玄関ホールの戸を開けることで閉鎖的にならないように、利用者の行動制限にならないように、職員皆で工夫し、取り組んでいる。今後も開放感が継続出来るよう期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に関しては管理者、職員が話し合い作成することで、日頃の業務内容を再確認出来ている。又オンブズマンや自己評価、外部評価の結果を職員会議で話し合い、具体的な改善策を検討し、日々のサービス向上へ繋げている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回実施されている。参加者は町内会長、利用者家族、市職員等、参加者からは積極的、率直な意見、要望が出されている。施設側からは、状況報告や、外部評価等についての報告を行い、利用者のサービス向上に生かされるよう取り組んでいる為会議録にも具体的に明記されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	玄関には苦情、意見箱を設置している。又家族が面会に見えた時は、ささいなことでも言いやすい環境作りに配慮されている。又オンブズマンも導入され利用者の思いが引き出せるようにしている。そして意見、要望等がある場合は迅速に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣近所との関係は普通家庭と同じように、助け合い協力し合いながら交流を深め、とても良い付き合いが出来、地域の中にとけ込んでいる。保育園や小学校との交流も積極的に行われている。又地域の方にチラシの配布を行い、認知症の理解を深めてもらえるよう努めている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念「共生の構築」をもとに「いつもにこにこあづましい」というホーム独自の理念を作り上げ、その人らしい生活の継続を大事にしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内の見やすい所に理念を掲示している。会議や日々のミーティングで理念の共有がなされており、管理者、職員が、いつも笑顔で利用者に接し「あづましく」暮らせるよう、ケアに反映されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	月1回カラオケ大会を実施して、地域の方に来て頂いたり、保育園や小学校との交流も積極的に行っている。又地域の方々から、花や漬物、野菜を日常的に頂いたりするので、ホームからもお返しをするなど、近所付き合いを普通の家庭と同じように行っている。そして地域の方に認知症の理解を深めて頂く為に、チラシの配布も行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>オンブズマンや自己評価、外部評価の結果を職員会議で話し合い、具体的な改善策を検討し、改善に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。町内会長や家族からは、積極的、率直な意見、要望を出してくれている。又施設からは、状況報告や外部評価報告を行い、サービス向上に生かすように努力されているが、会議録の中に外部評価に関する具体的な記録が明記されていない。</p>		<p>運営推進会議で外部評価に関する報告がされている為記録の中に、具体的に明記されることを望みます。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者は運営推進会議へ毎回出席することが困難な為参加出来ない時は、その都度きちんと報告している。又問題解決に向けて、連絡や実情報告、情報交換を行い、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度を活用している方がいるので実際に見て、学ぶ機会を持てる。又研修、勉強会があり、理解が深められている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者と職員全員で虐待のないケアを確認しながら行っている。又研修会や勉強会に参加して、学ぶ機会を持っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時の契約は、利用者、家族に不安のないように、理解、納得出来るよう、時間をかけて説明し、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回家族に対し、宮田館だよりとともに、金銭の出納帳やレシートを送付している。又面会時はその都度状況報告をしている。面会に来れない方には、電話で声を聞いてもらい、安心出来るようにしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を置き、家族からの苦情・意見があった場合は職員全員で話し合い、サービスの向上に努めている。又オンブズマンの結果については、玄関に掲示し、対処を明記している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人の方針で人事異動は定期的(教育の為)に行われている。利用者へのダメージを防ぐように利用者一人ひとりに合わせた対応をし、配慮すると共に新しい職員が利用者との良い関係が築けるように、さりげない会話から入る等工夫されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の他に法人での研修、勉強会を月7～8回実施している。又職員の教育プログラムが個々の能力に合わせ段階的に計画されており、スキルアップが図れるように実施されている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>東部圏域8カ所のグループホームが集まり、月1に～2回勉強会を実施しており、参加している。又その内容を持ち帰り、報告研修を行いサービスの向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に家庭訪問をして、アセスメントを行い、利用者が不安なく入居できるように、馴染めるような環境作りに努めている。</p>		
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者が自宅での生活をそのまま、その人らしく継続出来るように「ともに暮らし、ともに育ち、ともに生きる」という関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者、家族の希望を一番に考え、ケアに努めている。利用者の表情や暮らしの中でサインを見逃さないように、アセスメントを重要視している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の意向を大事にして、必要な関係者とも話し合い、利用者の得意なこと、楽しみや笑顔がみられるような、介護計画の作成に努めている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の見直しと状態の変化に応じて、随時カンファレンスを実施し、介護計画を見直している。</p>		<p>定期的あるいは状態の変化に合わせて随時の介護計画の見直しはされているが、より質の高いサービスを提供していく為に評価、モニタリングの記録を整理して頂くことを期待します。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ショッピングや美容院等の外出は要望に応じて実施している。又同法人のデイケアに知人がいる利用者は、一緒に利用出来るように連れて行ったりと柔軟な対応が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、利用者と家族の希望に応じて、かかりつけ医への受診援助を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人でターミナル委員会があり、看取り介護に向けてのケアを利用者、家族、医療関係者と話し合いながら、方針を今後共有していく予定である。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声掛け、対応は優しく、誇りを損ねないように配慮されている。又法人の個人情報保護委員会の伝達研修にて、プライバシーの確保は徹底されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、個々の日課に合わせて生活出来るように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は法人の栄養士が作成しているが、近所から頂いた野菜や漬物で変化を持たせたり、利用者と一緒に食事の準備、片付けを行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決めているが、入浴日以外でも希望に応じて入浴出来る体制となっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>中庭の野菜、花への水やり、食事の準備や片付け、掃除、洗濯物たたみ、和裁等一人ひとりが楽しみや張り合いを持って過ごせるよう支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候に合わせて週1回のペースで、ショッピングや受診、散歩等外出の支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。法人に身体拘束廃止委員会があり、職員全員が知識を共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の目の前が道路で非常に危険な状態であり、車の事故防止や不審者侵入を防ぐ為24時間施錠している。閉鎖的にならないよう又利用者の行動制限にならないように、玄関ホールの戸を開けたり、利用者が外に出たい時は、職員が付き添い対応する等前向きに対処されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年4回避難訓練を実施している。必ず町内会長へ連絡して、町内の有線放送をかけて頂いている。実際に地域住民が参加しての訓練は行われていない。		実際場面を想定して、関係機関や地域住民の参加を呼びかけ、実践して頂けるよう期待します。運営推進会議の中で地区の消防署や町内会長、家族、地域住民の協力を得ることが出来れば、実施可能と判断したので、積極的にアクションすることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、栄養士が献立を作成している為良好である。食欲低下の方には、食べたい物を聞いて補食に努めている。又水分摂取に関しては個々の一日のトータル量をチェックし、確保出来るよう支援されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、手洗いを励行し、予防に努めている。又法人の感染予防対策委員会から知識を得ることが出来る。インフルエンザ他対応マニュアルが作成されており、事務室にファイルがある為直ぐ活用できるようになっている。インフルエンザの予防接種も行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井の明りとりや、中庭の花、野菜の生育も廊下から全て見渡せるようになっている。全体に明るい雰囲気である。又ソファーや畳の間で自由に寝転んだりして寛げる。各箇所にインテリア風に炭が置かれており脱臭効果もあり、居心地良く過ごされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>机、小タンス、本、写真等、それぞれ馴染みの物品を持って来ていて、利用者が安心して過ごせる環境が整えられている。</p>		

 は、重点項目。